



## ギリシャ共和国 Hellenic Republic



### たばこ産業の特徴

1. ギリシャの国内消費市場は1999年の326億本から2003年には333億本に減少したが、過去数年、消費数量は安定している。
2. ギリシャ市場は観光客が購入するために、シガレット販売数量が消費量を上回るといった現象が続いている。
3. 5社により行われている2003年の国内のシガレット製造総数量は366億ウクライナと東欧向けの輸出が特に増えているために、近年製造が増加している。  
国内製造数量の内50.3%が輸出されているという特徴がある。
4. 多国籍企業のシェアはPhilip Morrisが約25%、BATとJTIが各10%。ギリシャのメーカーではPapastratosが26.9%のシェア。
5. アメリカン・ブレンドは依然として人気が高い。ベストセラーはMarlboro、次いでPeterStuyvesant、Camelである。
6. オリент巻きのシェアはやや持ち直して13.5%になっている。(2001)
7. 喫煙には比較的寛容であったギリシャ政府は喫煙の規制強化に乗り出している。
8. 世界のオリент葉の供給国であるが、栽培面積は1996年の75,000ヘクタールから、2001年には57,000ヘクタールに減少している。
9. 葉たばこ輸出量は90年代末は年間10万トン台であったが、最近8万トン台へ減少している。

### [1] 法規制

#### ・警告文等:

包かの表面には、「喫煙は貴方の健康に非常に有害である」と表示する必要がある。  
裏面にはEU指令(89/622/EEC)により、4種類の警告文をローテーション表示する必要がある。  
TN量はmgで包かに表示する必要がある。

#### ・成分規制:

EU統一規制により2004年1月からタール(10mg)、ニコチン(1mg)、CO(10mg)に規制された。

#### ・喫煙場所規制:

国内航空路線は禁煙、国際線は喫煙規制、教育施設、政府建物、病院は禁煙、バス、映画館、劇場等公共の場所は禁煙。

2002年10月の新法により全てのオフィスは喫煙エリア以外の場所は禁煙になった。レストランやバー、伝統的なコーヒーショップは50%の禁煙エリアを設ける必要がある。

#### ・販売規制:

購入・喫煙の年齢制限はない。  
バラ売りは禁止されている。  
行商は販売のライセンスが必要である。  
自動販売機による販売は禁止。  
スモークレスたばこ製品は販売禁止。

#### ・広告規制:

ラジオ、テレビでの広告は禁止されている。  
公共の場所でのたばこ広告の全面的禁止を課す、たばこ規制の地中海バージョンが2003年にスタートした。  
禁止にはビルボード広告や、バス停、キオスクのバーナー広告が含まれている。スポンサーシップは2006年から完全禁止。

#### ・販売促進活動:

販売促進物品の配布は2003年から中止。

### [今後の動向]

今までたばこに対して比較的緩やかであり、企業の広告の自主規制コードに頼ってきたギリシャ政府は、広告と喫煙の規制強化を開始した。  
ギリシャ市場は今後数年間、広告規制がマーケットシェアを固定するか、公共の場所での喫煙禁止が消費に影響するか監視する必要がある。

### [2] 税制

従価税	小売り価格に対して	53.86%
付加価値税	小売り価格に対して	15.25%
特別税	1,000本当たり	3.45ドル
小売り価格に対する税負担率		72.40%

### [ 3 ] 喫煙者プロフィール

喫煙率

	男性	女性	平均
成人 (2000年)	46.80%	29.00%	37.60%
15～16歳 (1999年)	28.00%	27.00%	27%

1人年間当たり喫煙本数

1970 - 72年	2,640本
1980 - 82年	3,440本
1990 - 92年	3,590本
1995年	4,313本

(出典: Tobacco or Health, Global Status Report & tcrc European Tobacco Control country profiles)

### [ 4 ] 市場概要

- ギリシャの国内消費市場は1999年の326億本から2003年には333億本に減少したが、過去数年、消費数量は安定している。
- ギリシャ市場は、シガレット販売数量が消費量を上回るという現象が続いているという特徴がある。観光事業と比較的製品価格が安いために訪問者が現地購入することが、販売が消費量を上回っている原因である。
- ギリシャでは1990～1995年には輸入製品が急速に増えたが、最近数年間は安定しており、102億本(1999年)～126億本(2003年)で推移している。輸入シガレットのシェアは40.6%に達している(2002年)。
- 5社により行われている2003年の国内のシガレット製造総数量は366億本。国内製造数量の約半分が輸出されているという特徴がある。
- ウクライナと東欧向けの輸出が特に増えているために、近年製造が増加している。
- ギリシャのメーカーは自社ブランドの国内販売減を輸出でカバーしている。1985年から1989年の間、ギリシャの輸出は年平均18億本であったが、1999年には159億本、2003年には184億本に増えている。主な輸出仕向地はトルコ、キプロス、ヨルダン、ボスニア、ヘルツゴビナ、ウクライナ。
- ライセンス製造による外国ブランドの国内販売シェアは30%と高レベルである。
- 1990年代初めにギリシャ市場は国内メーカーが外国企業の積極的な販売促進に対応せず、外国ブランドのアンダーライセンスで満足した。このために1990年の外国ブランドのライセンス製品と輸入製品を合わせたシェアは38%、1993年には50%を超え、2000年には67%になった。2001年には国産ブランドの販売は長年の減少から反転して、104億ある。
- 多国籍企業のシェアはPhilip Morrisが約25%、BATとJTIが各10%。ギリシャのメーカーのPapastratosが26.9%、Lareliasが18.1%、Sekapが13.8%である。
- ギリシャ製品は中近東市場でトルコやアメリカ製品と競争するために、品質を向上させ、包かを魅力的なものにしている。

シガレット統計データ(単位 億本)

	1995年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年
製造数量	277	364	365	363	364	366
輸出数量	92	165	178	180	180	184
輸入数量	122	103	120	125	125	126
消費数量	307	302	307	308	309	308

(注: 消費数量は計算上の推定値)

シガレット市場データ

	2001年	2002年
消費数量	329億本	333億本
フィルタ付き製品の割合	98.70%	98.80%
オリエンブレンドの割合	13.50%	NA
企業別シェア		
Papastratos	NA	26.90%
Larelias	NA	18.10%
Sekap	NA	13.80%
Keranis	NA	1.30%
Georgiades	NA	0.40%
Constantinou	NA	18.80%
主要製品シェア		
Marlboro	23.60%	24.90%
Camel	8.60%	6.30%

## [ 5 ] 製品概要

- アメリカン・ブレンドは依然として人気が高い。ベストセラーはMarlboro、次いでPeter Stuyvesant、Camelである。  
国産ブランドではSekap Biofilter B.F.とKarareliaが10位内にランクされている。
- 2001年には国産のアメリカン・ブレンドは3.4%増の54億9,100万本から56億7,900万本になり、伝統的ブレンド・シガレットは6.1%増の49億4,000万本から52億4,400万本になった。
- 一般的にブレンド製品のシェアは安定しており48%を占めている（2001年）。  
純ギリシャ・ブランドは2001年には15%に落ちており、ギリシャ・ブレンドのシェアは17%に低下したが、2002年には国産ブランドへの回帰が見られる。  
これは価格が安いこと以外に、製品品質が改善されているためである。
- 長年成功していたバイオフィルタを付けているBFシガレットは、人気が落ちているように見える。  
「リスク低減」のセールス・ポイントが喫煙者にはアピールしなくなったためであると思われる。

### ブランド別シェア

	2000年	2001年
<b>Papastratos</b>	NA	NA
Marlboro	2380%	2360%
No.1 Filter Soft	NA	NA
No.1 International	NA	NA
<b>Karelia</b>	1760%	1840%
Camel Filter	900%	860%
Karelia Filter	250%	240%
Karelia Lights(K.S.+10)	220%	410%
<b>Sekap</b>	820%	800%
Cooper	210%	210%
Astor	10%	10%
R6	10%	10%
<b>Keranis</b>	160%	180%
Keranis Filter	30%	30%
Oscar 100	40%	40%
Pallas Filter	20%	30%
Filter %	9860%	9870%
Oriental %	1220%	1350%
American Blend %	4610%	4720%
<b>消費合計</b>	<b>321億本</b>	<b>329億本</b>

( 出典 : Maxwell Report )

## [ 6 ] 企業概要

### Papastratos:

Papastratosは1930年に設立されたギリシャ最大のシガレット・メーカーであり流通業者である。Papastratosは製造販売で長年にわたりPhilip Morrisと契約している。最近の国産ブランドへの関心の高まりで利益を得ており、国産製品セクターでは47%のシェアを得ている。同社はPMのMarlboroのアンダーライセンス製造・販売やPMの他のブランドL&M、Chesterfield、Murattiの販売を行っている。同社は自社ブランドのNo.1Filter Soft、No.1 International、Assos、President、Papastratos、Sante、Saga、Cosmosも製造しており、AltadisのGauloisesとGitanesを輸入販売している。葉巻とシガレット市場でも2001年には15%販売を増やしている。同社はAltadisのFleur de Savane、Havanitos and Cruzeros、Burger's GroupのLivarde、Royal Duch、Corona、Moods and Tubosを販売している。2004年のオリンピックの後に新工場建設を計画。この工場はアテネ郊外に建設される予定であるが、時期については具体的には未定。Philip Morris Internationalは2003年5月6日にPapastratos社の株式の約76%を取得する契約にサインしたと発表した。一株当たりの最高額は18.15ユーロで、総額3億7,100万ユーロになる。最終承認は公正取引当局、親会社のAltria Group社取締役会の承認後になる。Papastratosの残りの株式は公開入札される。購入は2003年下半期には終了するものと思われる。

### Karelia Tobacco Co., Inc.:

カラマタにある第2位のメーカーである。JTIのWinstonとCamelをアンダーライセンス製造している。同社のKareliaは主にオリेंट巻であり、国産ブランドとしては最もよく売れているが、アメリカンブレンド製品のために伸びが落ちている。自社アメリカンブレンド(Karelia Filter、Karelia Lights)やバージニアブレンド(Karelia Ultra)のバージョンもある。Kareliaブランドはウクライナで人気が高まっている。Camel Filterが主力製品。

### Sekap:

ビレイウスにある第3位のメーカーで、ギリシャ製のアメリカンブレンドCooperが主力製品。Cooperブランドのバージョンとパッケージで輸出に努力している。

### Keranis:

ビレイウスにある第4位のメーカーで、主要ブランドはKeranis Filter。

**BAT :**

BATがRothmansを買収した1999年まではBATはギリシャでは小さな存在であった。製造はギリシャのメーカーTh D. Georgiades S.A.がアンダーライセンスで行い、BATはマーケティングを行っていた。

現在ではBATはドイツ、オランダ、イギリスの工場からシガレットを輸入して、自社ネットワークを通じてギリシャ全土に流通させている。

主なブランドはPeter Stuyvesant、Lucky Strike、Rothmans、Carton。テッサロニキに流通センターを持っている。

一方、全世界のBATグループはギリシャの葉たばこ購入に3,500～4,000万ドルを使っている。過去10年間、葉たばこマーチャントと協力して、耕作者の葉たばこ品質改善、特に殺虫剤使用を教育している。

**多国籍企業関連・子会社**

Philip Morris	Philip Morris Hellas S.A.
JTI	JT International Hellas A.E.B.E.
Gallaher	Gallaher Hellas S.A.
Reemtsma	Reemtsma Hellas S.A.
Altadis	Brand Management Group

**[7] 葉たばこ概況**

- 葉たばこはギリシャの主要な輸出産物であり、世界のオリエント葉の供給国である。栽培面積は1996年の75,000ヘクタールから、2001年には57,000ヘクタールに減少している。
- ギリシャのオリエント葉の生産量は1998年の84,100トンから2002年には75,200トンへと10.6%減少している。黄色種は同期間中に30,500トンから33,000トンへと8.2%増加している。パーレー種はほぼ横這いの12,000トンであった。
- ギリシャの葉たばこ輸出は1990年代中頃は同じレベルを維持していたが、1990年代中頃以降減少した。90年代末の数年は安定して年間10万トンレベルを推移していた。最近では8.5万トンに低下している。
- 主な輸出国は2000年でエジプト(11,200トン)、ロシア(10,900トン)、ドイツ(9,800トン)、エジプト(11,100トン)、アルジェリア(5,900トン)、アメリカ(5,600トン)、日本(4,200トン)である。
- ギリシャは品質を改良した黄色種やパーレー葉を輸出や国内使用向けに生産しようと努力している。
- EUが提案していた2006年度には補助金を完全廃止する案は否決されたが、新たなたばこ基金による他作物への転換という難題が待ちかまえている。

**オリエント葉(単位 トン)**

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生産量	84,100	83,050	83,500	75,247	752,000
輸入量	7,000	6,500	6,700	7,000	7,000
輸出量	67,901	70,000	69,400	57,000	580,000
国内使用量	21,000	21,000	21,000	21,500	24,500
期末在庫量	6,694	5,244	5,044	8,791	8,491

**黄色種(単位 トン)**

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生産量	30,500	30,650	30,500	35,953	33,000
輸入量	6,000	5,000	4,300	3,500	3,500
輸出量	20,514	21,000	22,000	25,000	24,000
国内使用量	14,300	14,300	13,800	14,500	14,000
期末在庫量	11,260	11,610	10,710	10,663	9,163

**パーレー葉(単位 トン)**

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生産量	12,400	12,300	12,350	12,300	12,000
輸入量	4,500	4,500	4,500	4,000	3,000
輸出量	9,913	9,000	5,600	8,000	7,000
国内使用量	7,600	7,600	7,800	10,000	9,500
期末在庫量	20,95	2,295	5,745	4,045	2,545